

令和8年6月1日発行

倉吉市議会だより

白壁

3月定例会

この議会だよりでは、議員本人が執筆(要約)したものを基に掲載しています。



今号の内容

- 市政に対する一般質問・・・2～10
- 議案に対する質疑・・・11
- 常任委員会・・・12～13
- 議案等の議決結果・・・14
- 視察の報告・・・14～15
- 飛び出せ！議場・6月定例会・編集後記・・・16



～ 市民と倉吉市議会をつなぐフォーラム～
(詳細は 16 ページ)

令和8年3月第2回倉吉市議会定例会が、令和8年2月24日(火)から3月17日(火)まで開催されました。
 会議録(質問・答弁など)は、市立図書館でご覧になれます。
 市議会会議録検索システムは、倉吉市ホームページからご利用できます。

市議会会議録検索システム



No. 37



【市政に対する一般質問】

【一般質問とは？】

年4回の定例会で行うことができます。議員が、市の事務の執行状況や今後の方針などについての報告や説明を市長や執行機関の長に求め、適切な市政運営が行われているかを質すものです。倉吉市議会では、基本的に1人あたりの質問時間は25分です。

一般質問通告一覧表

会派名	議員名	発言通告要旨
や ら い や	増田 孝二	○ 高齢社会を良くするために
		○ 「若者たちが活躍できる倉吉」について
	福田 淳	○ 本市における障がい者の方たちに向けた各種支援制度について
		○ 本市における「ふるさと納税」の取組について
		○ 本市のPTA連合会からの要望書への対応について
	田村 閑美	○ 保育所再編について
		○ 交通タクシーの現状と課題について 婚活事業について
	福井 典子	○ 保育行政について
		くらしよし倉吉プロジェクトについて 防災運動会について
	大津 昌克	人口減少時代におけるまちづくりについて
		○ トータル・システムについて
	朝日 等治	○ 高齢者福祉・介護保険事業について
新 政 会	鳥羽 昌明	USBメモリー紛失事案と本市の情報セキュリティ対策について
		○ 西エリア公立保育所再編計画(素案)についての前提条件の確認
	萬場 恵理	○ 震災に強いまちづくり促進事業の取組について
		○ 放課後等デイサービスの日曜、祝日の受入れについて
	福井 康夫	○ 大雪に係る除雪対応の現状と課題について
令和8年度当初予算編成について 農業振興について		
○ 民生・児童委員の本市の現状と課題について		

○印のついた質問内容は、次頁以降に記載しています。

会派名	議員名	発言通告要旨
新 政 会	米田 勝彦	○ 倉吉ふるさと物産館(打吹小学校前)について
		○ 行政に対する監査について
		○ 主権者教育について
そ う せ い 会	笠原 晶子	担任制について
		○ パブリックコメントについて ○ 重層的支援体制整備事業について
そ う せ い 会	山下 達也	○ 障がい児施設で働く方々や保育職の処遇改善について
		○ 子どもたちの休みと愛着形成について
		小学生の登下校時の安全対策について
	藤井 陽介	○ 保育士不足の解消について
		○ 倉吉市における子どもの遊び場不足と、今後の整備方針について
	山根 健資	○ ふれあいホリデーの柔軟な運用について
		○ 部活の地域移行・展開について
		運転免許証の自主返納について 消費税が減税になった際の地方自治体への影響について
	高橋 義博	○ 下水道事業について ○ 中学校の部活動の地域移行について
	中山 晶雄	○ 本市における中長期的な基金額の予測について
○ 本市の歳入・歳出の概要について		
○ 裁量的な支出の性質について 市長候補者としての今後4年間の財政政策方針について		

【通告とは？】

本会議で発言しようとする議員は、あらかじめ議長に対して質問する項目を明らかにするために、文書で通告を行います。この文書を「質問通告書」と言います。

なお、この通告一覧表は定例会開会日のおおむね2週間前に倉吉市ホームページに掲載されています。

定例会の一般質問
発言通告表





やらいや

ますだ こうじ
増田 孝二

高齢社会を良くするために

問 市長が描く本市の高齢社会はどうか伺う。

答 高齢者一人一人が生きがいと尊厳を持ちながら自分らしい生活を継続していただくことができる地域をつくっていく。

問 高齢者世帯が増える中、日々の暮らしにおける具体的な困りごとに対し、市としてどのように相談に応じ、対応しているのか伺う。

答 身近な困りごとは、まず地元自治公民館へご相談いただき、そこで解決が難しい場合には、市内5カ所の地域包括支援センターや社会福祉協議会の生活支援コーディネーターが専門的にサポートする体制を整えている。

問 誰でも気兼ねなく頼める手

段の1つとして有償によるボランティアでの対応はできないか。

答 あくまで地域の実情に応じた取り組みの中で検討いただくのが適切かと考える。

若者たちが活躍できる倉吉について

問 以前のような青年団青年会と言われた組織が現在も存在しているのか。またそれに類似する組織が各地域にあるか。

答 広域的に交流や青年団組織といった取り組みは今は無いと思う。

問 持続可能な社会を構築していくのに交流の場を積極的につくっていかねばならないと思っているが、さらなる後押しをしていただけないか。

答 若い世代に『倉吉に住んでよかった』と実感してもらおうことで、地元定着やUターンの促進につなげ、若者が倉吉を選び、活躍し続けられる取り組みを推進していきたい。



やらいや

ふくだ じゅん
福田 淳

本市における障がい者の方たちに向けた各種支援制度について

問 本市の障がい者支援制度のうち、特に自動車の運転に不可欠な操作装置などの改造助成について、近年の利用状況や周辺自治体との支援内容の違いを含め、現在の取り組み状況を伺う。

答 手帳交付時に支援制度一覧を配布し、自動車改造助成も周知している。利用は年2〜3件。内容については、近隣自治体と大きな違いはない。今後は市の独自事業を含め、地域の実情に合わせた支援を検討していく。

本市における「ふるさと納税」の取組について

問 本市のふるさと納税の現状と今後の方針を伺う。

また、企業と連携して新たな地場産品を生み出す『#ふるさと納税3・0』（大阪府泉佐野

市)のような先進的な取り組みを、本市でも導入すべきと考えるが、いかがか。

答 近年の実績は5億〜7億円台で推移しているが、令和7年度は米の供給不足が影響し減額となる見込みであるため、年間を通じた安定供給や独自返礼品の開発が喫緊の課題であり、今後は新たに開始した『返礼品開発支援事業』などを通じて地場産品をさらに充実させ、倉吉市の魅力をアピールしていきたい。

本市のPTA連合会からの要望書への対応について

問 市PTA連合会から提出された要望書への対応状況と今後の方針を伺う。特に中学校PTA連合会からの要望に対して、現在どのような進捗や具体的な対応がなされているか。

答 教育委員会ではPTAの要望を重視し、防犯カメラや支援員配置等に加え、制服の倉吉モデルやふるさとホリデーを実現してきた。今後も学校教育の充実へ向け、保護者の貴重な意見を真摯に受け止め対応していく。





やらいや
たむら しずみ
田村 閑美

保育所再編について

問 社保育園玄関スロープ改修、網戸設置、高城保育園の廊下、遊戯室床改修について具体的にどう考えているか。また、大雪時の保育所周辺の除雪支援についての考えは。

答 社保育園玄関スロープについては改修する計画は今のところはないが、施設の課題と捉える。

高城保育園修繕は令和8年度中に予定しており、その他網戸等の必要な修繕箇所が出てくれば順次対応したい。

除雪については、できる限り業者での対応等を入れて保育士の負担や地元の方の協力が少しでも軽減されるように取り組んでいきたい。

交通タクシーの現状と課題について

問 朝いちばんのスーパーはくと等に乘るための早朝のタクシーが利用できない。夜も12時を過ぎると利用ができない。深夜営業の店の不振や夜間救急対応等、解消すべき施策が必要だと思うが、困り事への対応策はどう考えているか。

答 鳥取県中部地域公共交通計画の中においても持続可能な運行体制の確立というものを掲げているが、実際に行動を実施していくアクションプランの中には、具体的に取り込めず、構造的な問題も出ている。喫緊の課題と認識しているので早急に何らかの対応を取り組めたらと思う。



やらいや
ふくい のりこ
福井 典子

保育行政について

問 今後の公立保育所再編において合同保育になった時、子どもたちの不安や戸惑いを少しでも減らすためにも、公立保育所として同じ持ち物（体操服・帽子・上履き等）、同じクラス名に揃えてはどうか。

答 現在、園ごとで決めた被服やクラス名になっている。今後の再編計画を定めた中で、子どもの不安解消の意味でも今後検討する必要があると考えている。保育現場の声も聞きながら考えていく。

問 保育士の人材育成、人材確保に向けた職員等の意見交換等の成果、取り組みはどうか。

答 令和7年12月、ホームページに「保育士からのメッセージ」

「ジ」というタイトルで、現役保育士3人から保育士の魅力を伝えるメッセージを作成し、公開した。今後も直接、保育士の声を聞く機会を設けたいと思う。

問 令和8年1月6日、震度4の地震が発生したが、災害発生時の対応はどうなっているか。私立は各園で判断することになっっていると思うが、公立・私立ともに本市としてのガイドラインを示してはどうか。

答 すみやかに子どもを確保して対応にあたった。1月の公私立園長会であらためて令和3年に策定した災害時における臨時休園等のガイドラインを周知したが、このたびのような地震発生時の対応が盛り込まれていないので、他自治体の事例も参考に研究して適切に対応できるガイドラインに修正を行っていきたいと考える。



やらいや

おおつ まさかつ
大津 昌克

トータル・システムについて

問 財源が厳しくなる中、選択と集中による事業仕分けが重要。事業のビルド&スクラップを市民と共にすべきではないか。市民に市の財政状況を説明し、必要な事業と削つてもよい事業をワークショップ等、対話の中で決定する手法はどうか。

答 予算なり事業を決めていく中での市民協働のあり方等についてはどう考えるかだが、市の財政状況を分かりやすい形で情報公開することは、市を運営する上での市民協働の点においても非常に重要なことだと思う。ただ、まだまだそういった面ではホームページ等にもその辺りまでは提示できておらず、予算関連資料等の公開までで結果の

報告的な公開となっており、市民協働としてはまだそこに至っていない。トータルシステムの考え等により、議会への説明、また市民への情報公開としても、非常に分かりやすい形になるのではないかなと思う。

今後、予算要求や決算資料等の様式等についても、議会からの意見もいただきたいという話を全員協議会で申し上げた通りであり、それらがきっちり説明責任を果たせるような内容になることが重要なので、そういった面では、助言や指導をいただきたいと思っている。



やらいや

あさひ とうじ
朝日 等治

高齢者福祉・介護保険事業について

問 住み慣れた地域で、豊かに健やかに暮らせる長寿社会の実現に向けて、高齢者を地域で見守り、支える仕組みづくりとして、第9期倉吉市高齢者福祉計画・介護保険事業計画、地域包括ケア推進計画の実行は急務であるが、進捗状況と課題は。

答 介護人材の不足、家族からの支援が受けにくい状況、9060、高齢者のみ世帯や単身高齢者が増え続けており、地域での見守り、支える仕組みづくりが急務となっていると感じる。在宅生活支援体制の確立、健康寿命延伸に向けた介護予防の充実、介護保険制度の持続可能な運営など、高齢者が自分らしく暮らせるためには、更

なる充実が必要と考えている。

問 第9期計画での課題を踏まえ、令和9年度からの第10期計画をどのように策定するか。

答 団塊ジュニア世代が65歳以上になる2040年を見据え、第10期計画においても、地域包括ケアシステムの進化、地域共生社会の更なる実現・進化を行うことが必要であると考えている。

問 元気な高齢者の増加に向けて、予防医療と介護予防のために、関金温泉での湯中運動が効果的ではないか。

答 現在、本市が実施している介護予防事業等については、新たなメニューの一つとして湯中運動の活用も含め、多くの皆さんに体験をいただいたり、地域資源としての関金温泉のすばらしさを多くの市民の皆様にも感じていただけるような取り組みにはできないのではないかなと考えている。





新 政 会

とば まさはる
鳥羽 昌明

西エリア公立保育所再編計画（素案）についての前提条件の確認

問 社保育園と高城保育園で今後行う予定の「改修等」とは大規模改修か、それとも補修か。

答 現時点では躯体に問題は無い。想定しているのは、保育所の床や天井などの更新であり、大規模改修は予定していない。

問 社保育園と高城保育園の現施設を今後何十年使用するつもりか。

答 社保育園は築51年、高城保育園は築44年。長寿命化型の整備周期の目安で行けば概ね築80年までは使用できる。

問 施設整備基準を約20年後の20人に置きすぎて、今いる3園計80人超や今後20年間のべ600人弱の子どもとその家庭支援をどう評価しているのか。

答 令和25年の社・灘手・北谷・高城保育園の合計児童数の推計値が21人程度になることから現人員に対する機能も短期間のうちに不要になる。適切な集団保育の環境を整えることに重きを置いて再編計画を立てたということでご理解いただきたい。

問 計画策定後の住民説明ではなく、計画策定段階で住民参画の機会を設けるべきではないか。

答 子ども子育て会議の委員は、保護者や地域の方、事業者、学識経験者から構成されている。パブリックコメント等においても計画の修正等のご意見もなかったことから、この3月中には市の内部決裁を経て完成とさせていただきます。



新 政 会

まんば えり
萬場 恵理

震災に強いまちづくり促進事業の取組について

問 今年は鳥取中部地震より10年の節目を迎える。倉吉市の耐震化率は、令和2年時点で78・3%、県内4市の中でも耐震化が進んでいない現状がある。今年10月は本市を主会場に「ぼうさいこくたい」が開催される。この好機を積極的に捉え、県の新しい補助制度に準じて住宅耐震化を強く推進する絶好の機会と考えるが、本市の考えはいかがか。

答 県の支援制度の拡充については、詳細を精査し、できる限り一緒になって取り組めるよう検討したい。

放課後等デイサービスの日曜、祝日の受入れについて

問 近年、核家族化が進み、ご家族の状況が多様化する中で、放課後等デイサービス利用にあたり、悩みを抱えておられる保護者の声を伺う。日曜日の受け入れをしている事業所がないのが現状だが、日曜日に働いておられる保護者のためにどこか1事業所、また、隔週でも受け入れに向け、事業所と協議をするなど、市として検討の余地はないか。

答 放課後等デイサービスは障害を持つ児童生徒の生活能力向上のための支援等を行うための事業所であり、日常的に預かる場所ではない。本市は月27日を利用上限として支給決定をしている。その他サービスを併用し、利用していただきたい。



新 政 会

ふくい やすお
福井 康夫

大雪に係る除雪対応の現状と課題について

問 2月8日の大雪による被害状況で、特に住宅密集地での除雪については、市民から多くの要望が寄せられているが、現場では「対応できない」という一律の回答に留まっているとの声がある。物理的に不可能な場合であっても、単に断るのではなく、市民の不安に寄り添った「丁寧な相談体制」を市として構築すべきと考えるが、見解を伺う。

答 住宅密集地など大型重機の投入が困難な場所については、単に「できない」と断るのではなく、今後は市が所有・貸出を行っている小型除雪機の有効活用を検討し、市民の皆様と連携したきめ細やかな除雪体制の構築に努めていきたい。

問 今回、高城地区での孤立集落や、高城・北谷・関金地区での停電が発生した。倒木撤去に時

間を要したことが要因だが、事前伐採やパトロール強化など、今後の具体的な対策を伺う。

答 「支障木伐採事業費補助金（上限20万円）」などの制度周知を徹底し、所有者による事前伐採を促進するとともに、道路パトロールによる点検を強化したい。また、異常発生時には防災行政無線を積極的に活用し、迅速な情報提供と安全確保を図っていきたい。

民生・児童委員の本市の現状と課題について

問 令和7年12月に委員の一斉改選を迎えたが、委員の確保と負担軽減が喫緊の課題となっている。現在の欠員状況への対策と、担い手の不安を払拭するための具体的な負担軽減策について、市長の見解を伺う。

答 委員の任期は令和10年までの3年間、定数は175人で補充できていないのが現状。

地区において、弾力的な運用も可能であり鋭意補充に努めていきたい。また、負担軽減策と企業や地域へのアプローチに努めたい。



新 政 会

よねだ かつひこ
米田 勝彦

倉吉ふるさと物産館（打吹小学校前）について

問 長らく閉まっていたが、現在の利活用はどうか。

答 令和5年4月1日から、市の観光振興に資する活用をする条件で、(株)赤瓦に土地の無償貸与と建物の無償譲渡が行われた。

赤瓦一号館とお土産販売の内容が重複してしまうのを防ぐため、あえて異なるジャンルのテナントでの活用で、1階には令和6年1月より、国内外を旅して集められた珍しい雑貨や古道具を扱う店舗が営業しており、個性的な商品展開が外国人客等の関心を引くと期待されている。2階はそば店が継続営業中。

行政に対する監査について

問 民間だと年一回の総会の前、会計や事業が適正に行われ

たか監査を受ける。市も受けているが、利害関係の無い第三者の視点でチェックをする外部の監査は受けてない。受けてはどうか。

答 識見を有する方2名、議員から1名、計3名の監査委員（内部）で監査をしている。

主権者教育について

問 国を形作る政治とは何か、を直接的に実感するような教育、取り組みが必要だと思ふ。学校としてどのような取り組みをしているか。

答 現在は学習指導要領に基づき小中学校の9年間を通して実施されており、社会科で政治や憲法の仕組みを学ぶほか、学級会などの特別活動を通じて民主的な意思決定プロセスを体験し、総合学習では、市長からのメッセージを受け地域の将来を考えるなど、教科横断的に取り組んでいる。これらを通じ、社会に参画し責任ある行動を取るための基礎的な力を養っている。





新政会

じくはら しょうこ
新原 晶子

パブリックコメントについて

問 広報の方法は。

答 デジタルとアナログの両面
で取り組んでおり、市報は年2
回（4月・10月）の予定掲載
や、ホームページで年間の周知
を行っている。各庁舎やコミュ
ニティセンターなどの公共施設
に意見箱を設置し、政策案への
意見を募っている。各世帯への
配布や回覧は、自治公民館等の
負担軽減の観点から現在は十分
に行えていない。

問 課題と今後の取り組みは。

答 1案件あたりの平均提出意
見数が約8件にとどまってお
り、市民参画を促すための周知
が課題である。公式LINEの
活用や、高齢者向けのスマホ講
座を通じたデジタルツールの導
入サポートにより、直接的な情
報伝達の強化を図る。現在は各

担当課が個別に広報を行って
いるため内容にバラつきがある
が、広報機能の強化やアピール
力の向上に向けた対応を検討し
ている。

重層的支援体制整備事業 について

問 国の交付金削減の影響は。

答 本市の現在の事業費はこの
基準額に収まる見込みであるた
め、直接的な影響はないと判断
している。

問 事業の実施状況は。

答 令和6年度の新規相談件数
は20件で、支援機関側からの協
力依頼や調整に関する相談が多
い。「縦割り」による弊害（各機
関の連携不足）を解消するた
め、調整や支援の橋渡しに取り
組んでいる。引きこもり等の
ケースに対し、待つのではなく
出向く支援（アウトリーチ事
業）を展開しており、信頼関係
の構築から丁寧に行っている。
複雑な課題を抱える人々にとっ
ての最後の砦として、各機関が
協力し、相談者に寄り添った支
援の継続に努める方針である。



そうせい会

やました たつや
山下 達也

障がい児施設で働く方々 や保育職の処遇改善につ いて

問 保育職等の専門職に対する
社会的評価の高まりに反して、
まだ処遇面の低さや現場軽視の
感否めない。市としての独自の
処遇改善策は考えていないか。

答 今のところ市としての独自
の処遇改善策までは考えていな
いが、国に対して公定価格の引
き上げを要望していきたい。保
育人材確保については県として
も制度は構築されてきているが
あまり活用がされていないた
め、支援制度の周知もしていき
ながら処遇改善に努めていき
たい。

子どもたちの休みと愛着 形成について

問 子どもの家庭時間がとれ
ず、園で多くの時間を過ごして
いる現状がある。現場の声を認
識されているか。また、家庭時
間を尊重、確保するための施策
はあるか。

答 子育て世代の就職率が全国
平均と比べて本市はかなり高
い。子どもの家庭時間、愛着形
成については子どもの成長に重
要で不可欠であるのは認識して
いる。園からは家庭の過ごし方
や親子のふれあいについて紹介
し、親子のふれあいの時間をよ
り多く持っていたくようにつ
なげていきたい。また、施策と
しての取り組みまでではないが、
子育て総合支援センターでの催
しを周知したり、図書館では子
育て応援コーナーを設置するな
ど親子のふれあいの場も提供し
ていく。



そうせい会

藤井陽介

保育士不足の解消について

問 保育士不足と0〜2歳児クラスへの負担増による現場の疲弊に対し、待遇改善だけでなく家庭養育の公的支援への転換が必要であると考えます。特に経済的理由で離職できない保護者の実態を踏まえ、0〜2歳児を家庭で育てる世帯に対し、月額2〜3万円程度の補助金を支給する制度の導入を検討されませんか。

答 保育児童の低年齢化、長時間化により保育士不足が課題になっている。

鳥取県として在宅保育のサポート（在宅保育対象者に3万円給付）を16市町村で実施しているが本市では実施していないので研究はしたいと思う。愛着形成に有効ではあるが虐待やそ

の予兆の発見の遅れに繋がるという観点もある。

倉吉市における子どもの遊び場不足と、今後の整備方針について

問 倉吉市では「子どもの遊び場が少ない」「天候に左右されずに遊べる施設がほとんどない」という切実な声が多く寄せられている。特に、雨天や降雪時、近年の猛暑といった環境下でも、乳幼児から小学生までが安心して過ごせる公共施設は極めて限定的。こうした現状を踏まえ、市は子どもたちが日常的に利用できる「全天候型の遊び場」の整備状況や不足について、現在どのように把握・整理されているのか伺う。

答 こども・若者・子育てに関するアンケートでも雨の日の遊び場がないことは把握しているが、不十分と認識している。中長期的に見れば遊び場の整備が必要と判断している。



そうせい会

山根健資

ふれあいホリデーの柔軟な運用について

問 「ふれあいホリデー」は有意義な制度である一方、過ごし方については各家庭で格差が生じているのが実態。

この制度をより実効性のあるものにするため、単なる休業日とするのではなく、地域行事への参加やクラブ活動、資格取得、コンクールへの挑戦など、子どもたちの多様な活動に充てられるよう、柔軟な運用の検討をしていただくことは可能か。市の見解を伺う。

答 ふれあいホリデーは2年間試行したが、周知不足、保護者アンケート回収率の低さ（約36%）、PTAからの懸念意見などを踏まえ、来年度は試行を行わず関係者の意見を丁寧に聴取

し、本格導入の是非を検討したい。保護者の休暇取得率は約40%に微増したが、休めない家庭もあることは課題と認識している。

部活の地域移行・展開について

問 今後の部活動の地域展開はどうか。

答 部活動の地域展開は、活動機会の確保や専門的指導を受けられる利点がある一方、指導者不足や費用負担、学校帰属意識の低下が課題。本市では平日は学校、休日は地域連携を基本に推進協議会を立ち上げて協議しているところ。また、鳥取市が配置している部活動コーディネーターを参考に推進体制を検討したい。





そうせい会
たかはし よしひろ
高橋 義博

下水道事業について

問 下水道財政で一般会計からの繰り入れがあるが、減額していくことはできないのか。

答 公営企業会計は独立採算であるが、国が地域の実情により一般会計からの繰り入れの基準があり、人口密度が低いと処理効率が悪く、汚水資本費単価も高くなるので、人口密度の高い地域との差を埋めるため、交付税措置で対応されている。また、下水道管渠の耐震化、施設からの補填が必要であることをご理解いただきたい。

問 下水道使用料金の改定は考
えていないのか。

答 下水道使用料金は、令和4年度下水道事業運営審議会で使

用料金を据え置いており、令和8年度に審議会を開催して改定について審議を行うことを考えていた。しかし、昨年10月に上水道料金の改定をしたので、い
ますぐの改定は難しい。上水道料金と下水道料金の改定時期を統一したいので、令和9年度から令和10年度に審議会で検討することを考えている。

中学校の部活動の地域移行について

問 地域クラブの地域展開はどのように考えているのか。

答 令和7年12月に出された新たなガイドラインは、令和8年度から令和13年度までを実行期間として、地域展開をすること
になっている。国が示す要件に基づき、市町村等が認定した地域クラブに補助を行うことを考えており、中学校部活動地域展開等推進協議会を立ち上げてい
るので、そこで今後の方針を検討していきたい。



そうせい会
なかやま あきお
中山 晶雄

本市における中長期的な基金額の予測について

問 本市財政規律では、財政調整基金（以下、「財調」）12億円以上、減債基金+財調の計20億円以上を確保とある。財政の切迫とはどの程度か。中長期的な基金額の予測を伺いたい。

答 本市は「財政計画」を定期的に公表している。直近計画では、令和12年度末の財調7億円、減債基金4億円の計11億円まで減少する見通し。
ただし令和7年度末については、計画上で計19億円であるが、現時点推計では約30億円になる見通しである。

裁量的な支出の性質について

問 毎年裁量的に使える政策財源の規模を推計したいが、本市では使途制約のかかっていない財源からの経費は、具体的にいくらあるのか。

答 明確な内訳提示は難しい。便宜的に令和6年度の地方財政調査資料にある臨時的経費を参照すると約1億1千万円。ただし、この中には設備補修、失業・災害対策等の経費（投資的経費）も多く含まれる。投資的経費を差し引いた後の臨時的経費は、約52億9千万円で、うち一般財源に該当するものは、約30億6千万円。
当該約30億円も法で決まっているので有無を言わずというものの、バス事業等市民生活にかかわるもの等が含まれており、すべて裁量的に使えとは言えない。

【議案に対する質疑】

執行部から提出された議案に対し、各議員が質疑を行いました。
※自らが所属する常任委員会の所管事項については、本会議での質疑は原則控えることとなっています。



市議会提出議案

議員名	通告	担当部局
大津 昌克	倉吉市総合計画審議会条例の一部改正について	総務部
竺原 晶子	倉吉市国民健康保険条例の一部改正について	健康福祉部
朝日 等治	倉吉市国民健康保険条例の一部改正について	健康福祉部
大津 昌克	倉吉市過疎地域持続的発展計画の策定について	総務部
増田 孝二	市道の路線の認定について	建設部

主な質疑・答弁

倉吉市総合計画審議会条例の一部改正について

Q 総合計画の位置づけ、根拠が不明であるがどうなのか。

A まちづくりの根拠を明確にし、安定性・信頼性を高めるため、第13次総合計画までに条例化を検討したい。

Q 審議会の委員の定数を45人以上から25人以内とした理由は。

A 過去の実績から、委員数が多すぎると議論の進行や発言時間の確保が困難になると判断。円滑な審議を行うため、今回も実績に基づき25名程度としている。

Q 審議会の委員で市議会議員の定数を特定していない理由は。

A 議会への報告を兼ね、議員2名程度の選出をお願いしている。将来的に計画を議決対象とする際、執行部の諮問機関に加わることによる「二重関与」の懸念もあるが、現時点

では現在の形での参画を求めたい。

Q 委員の任期を2年にした理由は。

A 他組織との整合性や、評価を次年度の予算・改善へ確実に反映させる視点から、任期は2年が妥当と判断した。

倉吉市過疎地域持続的発展計画の策定について

Q 他地区への説明はあったか。

A 他地区に個別説明会は開催していない。

Q 全市民で負担する過疎債のあり方を問う。

A 過疎債は実質負担が3割と有利な財源。ソフト事業で移住促進や地域活力を生むことは、将来の税収増や市全体の持続的発展に繋がり、後年や全市民への恩恵にもなると考える。

市道の路線の認定について

Q 米田町富海線に関連して新たな市道を設置された背景を伺う。

A 崖崩れ等による孤立を防ぐた

め、米田町富海線の狭小箇所を回避し、既存道を活用した約160mを市道に認定・接続することで、災害に強い避難ルートを確認する。

倉吉市国民健康保険条例の一部改正について

Q この制度の改正理由は。

A 高度化する医療費や県内料率統一に伴う県への拠出金増、少子化対策を支える支援金制度創設による改正。

Q 条例改正によって、保険料はどの程度に増えるのか。実際はどの程度になるのか。

A 国保料は医療・後期高齢者・介護分を合わせ一人平均約6,100円となる見込み。子ども子育て支援金は令和8年度から段階的に増え、同年度は平均215円と見込んでいます。

Q 運営協議会でのような意見があったか。

A 基金を計画的に活用し、急激な負担増を避けるなどらかな料率改定と、加入者への丁寧な説明を求める意見があった。





【常任委員会】

【常任委員会とは?】

所管する部門の事務に関する調査を行ったり、付託を受けた議案や請願などを審査します。行政の事務は多岐にわたり、かつ専門的であるため、合理的・能率的に調査・審査するよう部門別の委員会を設け、分科的に調査・審査します。

総務産業常任委員会

委員	田村 閑美 委員長	原 晶子 委員
	福田 淳 副委員長	笠原 直美 委員
所管	朝日 等治 委員	福谷 恵 委員
	中山 晶雄 委員	米田 勝彦 委員
	藤飯 陽介 委員	
	米田 勝彦 委員	
所管	総務部、建設部、経済観光部、農業委員会、会計管理者、上下水道局、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会	

総務産業常任委員会は、3月定例会で付託された議案を審査するため、12日に委員会を開催し、議案7件及び陳情2件に対して審査が行われました。

陳情第2号「政府に所得補償（直接支払い）制度の実現を求める意見書提出について」に関して、陳情者より意見陳述の申し出があり説明を受けました。「とにかく農業が潰れるかどうかの危機にきている。議会としても国へ何らかの施策をしてほしい、後継者を増やしてほしい」という意見を上げてもらえないか」という切実な思いを述べ、質疑を行ったのち賛成多数により採択すべきものと決定しました。

議案第33号の審査を実施後、打吹玉川伝統的建造物群保存地区における保存と活用について所管事務調査を行い、実際に現地に移動して参考人の戸田設計・戸田雅之氏からこれまでに修復を終えた物や準備を進めている物件、課題を抱えている建物等について説明を受けました。会議室に戻った後、あらためて議案第26号を含む6件の審査を行いました。

審査の結果

付託された議案は全て原案のとおり可決すべきものとされました。

また陳情第1号については、賛成少数により不採択すべきものと決定いたしました。

打吹玉川伝建地区の視察研修を実施 ― 先進地との比較で 浮き彫りになった課題 ―

3月12日、総務産業常任委員会は打吹玉川伝統的建造物群保存地区（伝建地区）の現地視察を行いました。本視察は、先に実施した大分県日田市豆田町での視察成果を検証することを目的としています。当日は市文化財課の岡本課長、鳥取県ヘリテージマネージャーの戸田雅之建築士を講師に迎え、地区内の家屋整備の実態を確認しました。



日田市豆田町は、本市同様「滞在型観光」への転換が課題となっていますが、空き家や損壊家屋が極端に少なく、飲食の客単価が高いという特徴があります。一方で本市の現状を確認したところ、活用が進む家屋がある反面、敷地奥の蔵や家屋の損壊、壁面の崩落などが目立ち、豆田町に比べ深刻な状況にあることが浮き彫りになりました。

視察後の協議では、議員から「早急な対策が必要」との意見が相次ぎました。今後は課題の専門性や複雑さを考慮し、地域の賑わい創出対策特別委員会等での継続的な議論を検討していきます。

厚生文教常任委員会

委員	増田 孝二 委員長
	山下 達也 副委員長
	大津 昌克 委員 高橋義博 委員
	鳥羽 昌明 委員 福井 典子 委員
	福井 康夫 委員 山根 健資 委員

所管 市民生活部、健康福祉部
教育委員会

審査の結果

ればその県のみ保育士になれる制度であると説明がありました。

次に議案第30号 倉吉市国民健康保険条例の一部改正について、議案第31号 倉吉市介護保険条例の一部改正について、には委員からの質疑はありませんでした。

厚生文教常任委員会には、議案3件が付託され、委員会審査が行われました。

議案第29号 倉吉市特定

教育・保育施設及び特定地域保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正については、地域限定保育士についての質問があり、この地域限定保育士制度について、令和8年度以降全国的に展開されるもので、地域限定保育士は、それぞれの県で筆記試験、実技試験があり、合格す

付託された議案3件は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。



予算決算常任委員会

委員	委員長 長 原 昌典 委員 子明子 淳 委員 陽 健 委員 陽 健 委員
	副委員長 長 原 昌典 委員 子明子 淳 委員 陽 健 委員
	委員 長 原 昌典 委員 子明子 淳 委員 陽 健 委員
	委員 長 原 昌典 委員 子明子 淳 委員 陽 健 委員
	委員 長 原 昌典 委員 子明子 淳 委員 陽 健 委員
	委員 長 原 昌典 委員 子明子 淳 委員 陽 健 委員
	委員 長 原 昌典 委員 子明子 淳 委員 陽 健 委員
	委員 長 原 昌典 委員 子明子 淳 委員 陽 健 委員
	委員 長 原 昌典 委員 子明子 淳 委員 陽 健 委員
	委員 長 原 昌典 委員 子明子 淳 委員 陽 健 委員

所管 予算決算に関する事項について
審査・調査

予算決算常任委員会（以下、予算委員会）には、令和7年度補正予算案件4件、令和8年度当初予算案件13件の合計17件の予算議案が付託されました。

令和8年度の当初予算は、32億1,853万1千円と過去3番目の規模ですが、市長選挙前の骨格予算としては過去最大となりました。

また特別会計、企業会計を含めた予算総額は505億7,457万9千

円で、令和7年度に比べ3億3,589万6千円、0.7%の減となりました。

本予算委員会は、3月5日、9日、11日の3日間開催し、慎重審議されました。また昨年10月の市議会議員改選により7名の新人議員が加わり、17名の議員全員が予算委員として活発な質疑が行われました。中でも2款総務費1項総務管理費9目交通対策費と、4款衛生費1項保健衛生費3目予防費では、かなり時間をかけて審議がなされ、中には政策提言的な意見も多数ありましたが、議員間討議には至りませんでした。

審査の結果

付託された議案はすべて、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。



【議案等の議決結果】

3月定例会に提出された議案等のうち、賛否が分かれた案件はなく、全ての議案が、承認・可決・同意されました。



議決結果

請願・陳情の結果

番号	件名	委員長報告 (付託委員会)	議員														賛成	反対	議決結果					
			朝日等治	大津昌克	田村閑美	福井典子	福田淳	福谷直美	増田孝二	笠原晶子	福井康夫	鳥羽昌明	萬場恵理	米田勝彦	山根健資	高橋義博				中山晶雄	藤井陽介	山下達也		
陳情 第1号	非核三原則の堅持を求める意見書提出について	不採択	×	×	×	×	×	-	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	5	11	不採択		
陳情 第2号	政府に所得補償(直接支払い)制度の実現を求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	14	2	採択

【会派名】
や...やらいや
新...新政会
そ...そせい会

凡例 ○賛成、×反対、※退席・除斥・欠席、-議長のため表決に加わらず
※請願・陳情は、提出された請願及び陳情に対して、賛成は「○」、反対は「×」と記載しています。

視察報告

期 間	令和7年10月10日(金) ~ 10日(金)		旅費総額	50,100円
視察先・目的	東京都千代田区	首相官邸	石破首相表敬訪問	
	東京都千代田区	鳥取県東京本部 一般社団法人日本健康生活 推進機構	政策戦略について 健康寿命への取り組みについて	
視察者(会派)	田村 閑美			1人
期 間	令和7年11月12日(水) ~ 13日(木)		旅費総額	493,570円
視察先・目的	東京都千代田区	衆参議員会館	地元選出国會議員への要望活動	
	東京都千代田区	鳥取県東京本部	とっとり歓迎案内所ウエルカニ及びとっとり若者 ウエルカニ窓口の取り組みについて	
視察者(会派)	朝日 等治、田村 閑美、福井 典子、福谷 直美、福田 淳、増田 孝二、大津 昌克			7人
期 間	令和7年11月12日(水) ~ 13日(木)		旅費総額	211,530円
視察先・目的	東京都千代田区	衆参議員会館	地元選出国會議員への要望活動	
	東京都千代田区	鳥取県東京本部	鳥取県歓迎案内所ウエルカニ及び首都圏とっとり若者 ウエルカニ窓口の取り組みについて	
視察者(会派)	山根 健資、高橋 義博、山下 達也			3人
期 間	令和8年1月15日(木) ~ 16日(金)		旅費総額	63,580円
視察先・目的	東京都新宿区	地方議員研究セミナー	地方議員研究会 公共施設特別講座 「公共交通問題」「公共施設更新費用と財政的な視点」 「インフラ老朽化の課題」	
視察者(会派)	鳥羽 昌明			1人
期 間	令和8年1月18日(日) ~ 20日(火)		旅費総額	325,260円
視察先・目的	大阪府泉佐野市	泉佐野市役所	ふるさと納税の取り組みについて	
	京都府京都市	京都府庁	きょうと婚活支援センター事業について	
視察者(会派)	朝日 等治、田村 閑美、福井 典子、福田 淳、増田 孝二、大津 昌克			6人
期 間	令和8年3月18日(水) ~ 19日(木)		旅費総額	57,820円
視察先・目的	東京都江東区	東京ビッグサイト	第25回SMART ENERGY WEEK(春)	
視察者(会派)	米田 勝彦			1人

厚生文教常任委員会

1. 視察概要

宮崎県延岡市（1/27）：保育人材確保支援強化事業

福岡県大牟田市（1/28）：プラスチックごみ分別収集事業



2. 調査の要点と成果

プラスチックごみ分別：「ごみの減量と再資源化」に向け、住民の協力（分別）と行政の仕組み（安価な専用袋や収集日設定）をどう噛み合わせるかが鍵。実施後、可燃ごみの重量・袋使用量が確実に減少した実績を確認した。

保育士確保（延岡市）：公私間の人材不足の差を把握し、市独自の支援事業を展開。現場や市民からの評価に基づき、改善を繰り返しながら「選ばれる保育現場」づくりを推進している。施設再編も視野に入れた中長期的な体制構築が重要。

3. 本市への反映案・所感

プラスチック分別の導入には、市民の経済的負担軽減（袋代の調整）と丁寧な広報が必要。

保育士不足解消に向け、本市でも民間園と連携した独自の人材確保策を検討すべきである。



総務産業常任委員会

1. 大分県日田市：町並み保存と観光振興（1/26）

伝統的建造物群保存地区における防災体制や空き家対策、観光客の動向を調査。人口減や通過型観光といった本市共通の課題に対し、市長部局への事務移管によるメリットや、無電柱化・消火設備等の環境整備状況を実地で確認した。保存会との連携や客単価向上が今後の鍵となる。



2. 福岡県福岡市（福岡半導体リスクリングセンター）：半導体リスクリング支援（1/27）

産学官連携によるデジタル人材育成の体制を調査。高度な専門技術をリモート等で習得できる環境が整っている一方、個人受講にはハードルがある。本市においても、商工会議所と連携した企業への働きかけや、受講料支援など、行政が介在した利用促進の検討が必要である。

3. 福岡県福岡市（博多町家ふるさと館）：歴史的資源と地域コミュニティ（1/27）

「博多町家ふるさと館」を視察。博多祇園山笠を中心に、自治会等の地域コミュニティが極めて強く、行政運営の根幹を担っている点に特徴がある。この強固な地域愛が移住・Uターンの動機となり、人口増に寄与している実態は、本市のコミュニティ活性化の参考となる。

【まとめ】

歴史資源の維持には住民の誇りと行政の整備が不可欠であり、産業支援には官民の橋渡しが重要である。各市の先進事例を本市の特性に合わせ、施策に反映させていく。






令和8年 6月 倉吉市議会定例会

【会 期】6月15日(月)～7月2日(木)

【会議日程】

月日	曜日	会議区分	時間	内容	
6月15日	月	本会議	午前10時	議案の上程、提案理由の説明	YouTube
16日	火			休会	
17日	水			休会	
18日	木	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	YouTube
19日	金	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	YouTube
20日	土			休会	
21日	日			休会	
22日	月	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	YouTube
23日	火			予備日	
24日	水	本会議	午前10時	付託議案に対する質疑～委員会付託	YouTube
25日	木	委員会	午前10時	予算決算常任委員会(予定)	YouTube
26日	金			予備日	
27日	土			休会	
28日	日			休会	
29日	月	委員会	午前10時	常任委員会(総産・厚文)	
30日	火			予備日	
7月1日	水			議事整理日	
2日	木	本会議	午前10時	委員長報告～付議議案の討論・採決	YouTube

 …ケーブルテレビ放送あり
 ※録画放送は開催日の午後7時から。
 …手話通訳あり
 …YouTube配信あり

倉吉市議会の情報は、ホームページでもご覧いただけます。会議予定、議長日程、議員名簿、市議会だより、会議録などを掲載しています。

倉吉市議会

検索



編集後記

蛙の声や雨音に梅雨を感じ、初夏の訪れも感じる季節となりました。

新年度がスタートして早くも2ヵ月が過ぎ、新しい環境にも慣れてこられたのではないのでしょうか。

さて、3月議会では当初予算を審査する重要な委員会が行われ、その様子はYouTubeでも公開されています。市民の皆様の暮らしに直結する議論をぜひ身近に感じていただき、議会への関心を深めていただければ幸いです。

皆様と対話できる日を楽しみに！また、たくさんの笑顔があふれる倉吉市であるように議員一同、全力疾走して参りますので今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

(委員 山下達也)

議会だより「白壁」
 のご意見・ご感想はこちら ▶



市民と市議会を つなぐフォーラムを開催！

～対話から始まる、
みんなのまちづくり～

2月14日、倉吉交流プラザにて「市民と倉吉市議会をつなぐフォーラム」が開催されました。当日は市民と議員あわせて約60名が参加し、倉吉の未来について熱心な対話が交わされました。

第1部：基調講演

大正大学の江藤俊昭教授より「住民とともに歩む議会」と題してご講演いただきました。江藤教授は、「議会は住民自治の根幹であり、多様な意見を戦わせる合議体である。生活と政治の密接な関わりを理解し、対話と熟議を通じて地域課題の解決へ向けて“総力戦”で取り組むことが重要」と語られ、参加者にとって大きな気づきの機会となりました。



第2部：ワールドカフェ(意見交換会)

少人数のテーブルに分かれた対話では、市民の皆様から前向きな感想が多く寄せられました。

- 議員が身近に感じられ、議会を傍聴してみたいと思った。
- 市民も意見を言う機会を持つことが大切だと実感した。
- 今後も議員と一緒に市政を考える機会がほしい。



*倉吉市議会では、これからも市民の皆様と力を合わせ、より良いまちづくりに取り組んでまいります。